

阪神・淡路大震災の教訓を生かし、 南海トラフ巨大地震に備える



写真：人と防災未来センター展示

日 **10月8日(水)** 13:00~17:20

時 **10月9日(木)** 8:45~12:50

場 **ラッセホール 2階 ローズサルーン**
所 (神戸市中央区中山手通4-10-8)



阪神・淡路大震災30年
1995.1.17

うすれない記憶はない。
つなぐべき決意がある。



主催：自治体災害対策全国会議実行委員会

- 共催：(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、読売新聞社
- 後援：全国知事会、全国市長会、全国町村会、指定都市市長会、内閣府政策統括官(防災担当)、消防庁、兵庫県、関西広域連合

13:00～13:15

主催者挨拶 齋藤 元彦 (自治体災害対策全国会議実行委員会実行委員長／兵庫県知事)

共催者代表挨拶 田中 隆之 (読売新聞大阪本社代表取締役社長)

13:15～14:00

基調講演

「阪神・淡路大震災を振り返り、 巨大地震に立ち向かう ～被害を軽減する鍵」

河田 恵昭 (人と防災未来センター長／
関西大学特別任命教授・社会安全研究センター長)

14:00～14:25

特別報告

「防災庁設置に向けた政府の動き」

本間 優子 (内閣官房 防災庁設置準備室企画官)

14:25～15:10

基調報告

「阪神・淡路大震災からの神戸市の復興について」

久元 喜造 (神戸市長)

15:20～17:00

パネルディスカッション

「阪神・淡路大震災30年 ～震災の経験をつなぎ、南海トラフ巨大地震に備える」

■コーディネーター 阪本真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)

■パネリスト 米山 正幸 (北淡震災記念公園総支配人)

阿部 志郎 (兵庫県南あわじ市危機管理部副部長兼危機管理課長)

村越 淳 (高知県黒潮町情報防災課長)

山田 和彦 (静岡県伊豆市危機管理課長)

17:00～17:20

総括

室崎 益輝 (自治体災害対策全国会議実行委員会企画部会長／
神戸大学名誉教授)

8:45

ラッセホール前 集合

9:10～

現地視察

(1) 人と防災未来センター（神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2）

(2) 阪神高速震災資料保管庫（神戸市東灘区深江浜町11-1）

12:50

J R三ノ宮駅・新神戸駅 解散

人と防災未来センター

人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承するとともに、その経験を活かし、防災に関する知識や技術の普及を図るために、平成14年4月に兵庫県が国の支援を得て設置した施設です。

阪神・淡路大震災の経験と教訓の継承及びその教訓を未来に活かすことを通じて、災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、減災社会の実現に貢献するための取り組みを進めています。



写真提供：人と防災未来センター

阪神高速震災資料保管庫

阪神・淡路大震災の被災を後世に伝えるため、被災した構造物を体系的に抽出し保管しています。ここに保管されている構造物は、地震の凄まじいエネルギーを彷彿させるものであり、これまで仮想でしかなかった実物の壊れ方を証明するものです。今後の防災対策の研究の一助となることを願い、特徴的な被災構造物を34点展示しています。



写真提供：阪神高速震災資料保管庫

基調講演

「阪神・淡路大震災を振り返り、巨大地震に立ち向かう ～被害を軽減する鍵」



河田 恵昭 (かわた よしあき)

人と防災未来センター長／関西大学社会安全学部特別任命教授(チェアプロフェッサー)・社会安全研究センター長

工学博士。専門は防災・減災・縮災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長(兼務)のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。2007年国連SASAKAWA防災賞、09年防災功労者内閣総理大臣表彰、10年兵庫県社会賞、14年兵庫県功労者表彰、16年土木学会功績賞、17年アカデミア賞、18年神戸新聞平和賞、22年河川功労者表彰、23年海岸功労者表彰、24年日本自然災害学会功績賞、瑞宝中綬章受章。日本自然災害学会および日本災害情報学会会長を歴任。

特別報告

「防災庁設置に向けた政府の動き」



本間 優子 (ほんま ゆうこ)

内閣官房 防災庁設置準備室企画官

1984年新潟県生まれ。2007年国土交通省入省。不動産、住宅などの行政分野の経験を経て、2023年より内閣府に出向し、防災行政に従事。

基調報告

「阪神・淡路大震災からの神戸市の復興について」



久元 喜造 (ひさもと きぞう)

神戸市長

1976年に東京大学法学部を卒業し、同年4月に旧自治省入省。内閣官房内閣審議官、総務省大臣官房審議官(地方行政・地方公務員制度、選挙担当)、同自治行政局長などを歴任。札幌市財政局長、青森県企画課長、石川県財政課など、地方自治体でも勤務。2012年11月より神戸市副市長、2013年11月より第16代神戸市長に就任。現在3期目。指定都市市長会会長などの役職も務める。

パネルディスカッション

「阪神・淡路大震災30年 ～震災の経験をつなぎ、南海トラフ巨大地震に備える」

■コーディネーター



阪本真由美 (さかもと まゆみ)

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授

専門は、減災コミュニケーション、防災教育、地域防災。国際協力機構（JICA）で国際協力に携わった後に京都大学大学院博士後期課程修了。博士（情報学）。人と防災未来センター主任研究員、名古屋大学減災連携研究センター特任教授を経て現職。ひょうご震災記念21世紀研究機構理事、日本災害復興学会理事、令和6年防災功労者防災担当大臣表彰受賞。著者に「阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか：被災者支援の30年と未来の防災」慶應義塾大学出版会 2024年、「地域が主役の自治体災害対策：参加・協働・連携の減災マネジメント」学芸出版社 2025年など。

■パネリスト



米山 正幸 (こめやま まさゆき)

北淡震災記念公園総支配人

1966年、兵庫県生まれ。自営の鉄工所を営む中、兵庫県淡路島の北淡町（現淡路市）富島（としま）で阪神・淡路大震災に遭う。当時28歳。妻と2か月の長女と共に生活するなかで、地震の恐ろしさを体験する。

直後から、富島消防団員として救助活動や救援物資の配布等にあたる。

平成12年2月から北淡震災記念公園勤務。現在、北淡震災記念公園総支配人。

また、平成17年からは震災の語りべとしての活動を始める。

3-40
1-1
2-1

■パネリスト



阿部 志郎 (あべ しろう)

兵庫県南あわじ市危機管理部副部長兼危機管理課長

1994年 南淡町役場入庁

2005年 三原郡4町（緑町、西淡町、三原町、南淡町）合併
廃置分合により南あわじ市職員

2018年 兵庫県企画県民部 災害対策局災害対策課主幹

2020年 教育委員会体育青少年課長

2022年 南あわじ市危機管理部危機管理課長

2025年 現職

Profile

■パネリスト



村越 淳 (むらこし じゅん)

高知県黒潮町情報防災課長

1992年4月 旧大方町役場入庁（現黒潮町役場）

税務課、同和対策室、総務課、健康福祉課、まちづくり課

2017年4月 情報防災課 消防防災係長

2020年4月 情報防災課 課長補佐兼消防防災係長

2022年4月より現職

■パネリスト



山田 和彦 (やまだ かずひこ)

静岡県伊豆市危機管理課長

令和6年4月に伊豆市危機管理課長に就任。

平成7年1月の阪神淡路大震災においては、静岡県を通じて災害復旧のための市町村職員派遣として、現地で支援活動に従事した。

また、平成23年3月の東日本大震災においても、静岡県を通じて災害復旧のための市町村職員派遣として、現地で支援活動に従事した。

総 括



室崎 益輝 (むろさき よしてる)

自治体災害対策全国会議実行委員会企画部会長／神戸大学名誉教授

1944年兵庫県生まれ。京都大学建築学科卒業。工学博士。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、関西学院大学災害復興制度研究所長、兵庫県立大学減災復興政策研究科長などを経て現職。地区防災計画学会会長、日本防災士会理事長、ひょうごボランティアプラザ所長、海外災害援助市民センター代表などを歴任。防災功労者内閣総理大臣表彰、神戸新聞平和賞、NHK放送文化賞などを受賞。専門は、建築防火、都市防災、減災復興。現場主義と総合主義の目線で災害に向き合うことをモットーにしている。

Memo

主 催

自治体災害対策全国会議実行委員会

委員長	兵庫県知事
副委員長	神奈川県知事（全国知事会推薦）
副委員長	島原市長（全国市長会推薦）
監 事	神戸市長（指定都市市長会推薦）
監 事	芦北町長（全国町村会推薦）
委員	奥尻町長
委員	岩手県知事
委員	遠野市長
委員	宮城県知事
委員	南三陸町長
委員	福島県知事
委員	浦安市長
委員	東京都杉並区長
委員	新潟県知事
委員	長岡市長
委員	岐阜県知事
委員	静岡県知事
委員	愛知県知事
委員	三重県知事
委員	和歌山県知事
委員	鳥取県知事
委員	高知県知事
委員	黒潮町長
委員	熊本県知事
委員	宮崎県知事
委員	関西広域連合長（滋賀県知事）

共 催

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター
 読売新聞社

後 援

全国知事会、全国市長会、全国町村会、指定都市市長会、
 内閣府政策統括官（防災）、消防庁、兵庫県、関西広域連合

自治体災害対策全国会議実行委員会事務局 （公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災の10年間にわたる復興過程の総括検証を踏まえ、「安全安心なまちづくり」「共生社会の実現」という基本課題を中心に、様々な地域課題や政策課題について、幅広い視点から政策提言を行うとともに、震災の経験と教訓の発信、研究機関との知的交流、人材育成などの諸事業を展開するほか、兵庫県からの委託を受け、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、兵庫県こころのケアセンターの運営を行っています。

TEL:078-262-5713 FAX:078-262-5122

阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の経験と教訓に基づき、災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、安全・安心な市民協働・減災社会実現に資するため、震災関係資料の展示、実践的な防災研究、防災を担う人材の育成、災害対応の現地支援、多様なネットワークを通じた連携などを推進しています。

TEL:078-262-5050（観覧案内）

